

「絶対に技術士になるぞ！」という気持ちが大切

<建設部門・施工計画>

1. はじめに

受験中にモチベーションが下がって勉強に集中できなかった時に、当HPの体験記を読ませて頂くことで、モチベーションの向上を図ることができました。

これから技術士試験を受験される方々に少しでも役立てば幸いと思い、私の体験記を寄稿させていただきます。

2. 自己紹介

- ・合格時40歳、男性
- ・私立大学土木科を卒業後、一級建築士事務所に入社（土木設計・工事監理担当）
- ・保有資格：一級土木・造園・建築施工管理技士、測量士
- ・第一次試験：H21×、H22×、H23○
- ・第二次試験：H24○

3. 勉強方法

- ・当HPのセミナー等を受講

第一次試験合格後に学校や通信教育を検討したが、金額に見合った指導を受けることができるのか疑問が生じた。結局は自分の頑張り次第と考え、独学を決意した。但し、社内には技術士がおらず、気軽に助言や添削を受けることができないため、当HPの筆記試験対策セミナー、筆記試験講座と模擬面接を受講させて頂いた。

- ・勉強時間

昼休みと通勤電車内で1時間、帰宅後に2～3時間、休日は3時間。

4. 筆記試験までのスケジュール

1月

- ・当HPで試験内容を把握
- ・国土交通白書・参考書・雑誌を購読開始

2月

- ・過去問の整理・傾向検討

3月

- ・経歴票の作成

経歴の整理は、これまでの業務の再確認と自身の成長を把握できたため、非常に良かった。技術士としてふさわしい業務の候補を2つ決めた。

- ・必須科目の対策

国土交通白書を読む。

4月

- ・出願・筆記試験対策セミナー（APEC-semi）を受講

試験対策の説明、隣の人との1分間プレゼン等があり、受講できてよかった。

- ・受験申込み

業務は特殊な施設の設計・工事監理であるため、土木に広く浅く携わっている。専門は「コンクリート」で受験したかったが、技術士としてふさわしい業務が該当しなかったため、「施工計画」を専門として申込んだ。

- ・必須科目の対策

国土交通白書、国土交通省の政策を読む。

5～6月

- ・筆記試験対策セミナー（APEC-semi）を受講

試験内容、骨子法やテーマ毎の社会資本整備の課題について学ぶことができ、非常に参考になった。

- ・筆記試験講座（SUKIYAKI塾）

運良く講座に当選した。講師から頂いた問題の解答をパソコンで作成。

- ・必須科目の対策

過去問の解答を白書や政策を読みながらパソコンで作成。

- ・専門科目の対策

「コンクリート」「建設廃棄物・リサイクル」「大規模掘削」の過去問の解答を標準示方書、政策や文献を読みながらパソコンで作成。

7～8月

- ・筆記試験講座（SUKIYAKI塾）

講師の添削指導を受け、的確な指摘に感謝した。特に「出題者の意図を考える事」の指摘には、受講をできて本当に良かったと思った。

- ・練習問題

そろそろ手書きに慣れようと思い、自作の想定問題・日経コン等の演習問題・過去問を手書きで解答した。600字の解答用紙を75枚。

- ・漢字の練習（約180語句）

5. 筆記試験（8/5）

5-1. 試験会場

- ・大阪産業大学

大学HPでは「駅から徒歩15分」とあったが、受験生の長蛇の列のため20分掛かった。

当日は晴天であったため、到着時点で汗だくであった。教室は冷房完備であり、間接的に風を受けたので少し寒かった。

5-2. 試験（午前）

問題は「防災・減災に向けた社会基盤整備」を選択。想定していた問題であった。文頭の「東日本大震災を契機として」を重視して解答した。見直しが終わった時に試験終了の合図があった。

5-3. 試験（午後）

問題を一通り見て、「大規模掘削」と「建設廃棄物」を選択した。

1問目の「大規模掘削」を解答した時点で試験時間の半分を10分過ぎていたのであせった。午前と1問目の「大規模掘削」の解答では少しでも汚い字は書き直していたために時間が掛かり過ぎた。そのため2問目の「建設廃棄物」はよっぽど汚い字以外は、書き直し無しでいこうと決めた。結局、午前中と同様、見直しが終わった時に試験終了の合図があった。

5-4. 所感

午前の試験が終わった時点で、合格の可能性があるのかどうか、モヤモヤした気分で昼食を取った。気持ちを切り替えて、午後の試験に臨む事を心掛けた。

事前の手書き練習で解答時間は20～25分/枚を目安にしていたが、試験では30～35分/枚を要したため、午前・午後ともに時間がギリギリであった。速記と共に汚文字・誤字による消しゴムの使用頻度を少なくすることが重要だと感じた。自分の足下だけ消しカスだらけであった。

想像した程、利き腕の疲労は無かった。

5-5. 結果

合格発表（10/25）は、会社で確認した。技術士会のHPにアクセスし、パソコンの画面をドキドキしながらスクロールすると自分の番号が近づいてきた。と思った瞬間に自分の番号を見つけ、ガッツポーズした。

せっかく筆記試験に合格したのだから、絶対に口頭試験も合格するぞっと強く思った。

6. 技術的体験論文

9月中旬から作成を始めていたが、合否が分からない状態では集中できず、筆記試験合格発表時点では叩き台程度までしかできていなかった。結局、合格日から大慌てで仕上げに取り掛かった。

11月初旬に技術士2名の添削を受けた。自身でも感じていたが、略記業務の解決策についての根拠が曖昧等の指摘を受け、悩んだ挙げ句に略記業務を変更した。

修正を繰り返したため、論文を消印有効日（11/6）の22時頃に郵便局に持ち込み、なんとか間に合った。

7. 口頭試験までのスケジュール

10月

- ・当HPで口頭試験内容を把握
- ・参考書を購読開始

11～12月

- ・想定試問を170問作成
- ・模擬面接（APEC-semi）を2回受講

面接官は2回ともAPECさん。APECさんの「この業務の技術士としてふさわしい点はどこですか。」の問いに、私が「△△△という点です。」と答えると、瞬時に「そうではなく、〇〇〇という点ですよ！」と的確な指摘を受けた。その指摘に対する短所を引

き出す試問もあり、面接中にAPECさんは本当にすごい人だなと感動していた。

- ・試験前日

口頭試験は12月初旬の15:15～であったため、朝に自宅を出ても間に合ったが、用心のため前日にフォーラムエイトの近くのホテルに入った。そこは24時間滞在ができたので、試験開始2時間前まで想定試問の確認をした。

8. 口頭試験（12月初旬）

8-1. 試験会場

- ・フォーラムエイト

受付を済ませて控室に入ると受験生が40名程いた。後ろの方の席に座りたかったが空いておらず、一番前の席に座った。控室の隣の部屋でも試験が行われていたので驚いた。

8-2. 試験

- ・試験官：教授風50歳くらい（進行役）と役人風55歳くらい（技術担当）の2名

- ・試験室：時計無し、ホワイトボード有り

- ・試験時間36分間

- ・試問内容

雑談の後、試験開始宣言。

経歴と体験業務を10分程度で説明して下さい。

これまでに特許、論文発表などはありますか。

受験動機はどういったものですか。

体験業務1について7問。

体験業務2について6問。

これまでの失敗例、理由、対処はどういうものがありますか。

これまで一番やりがいのあった工事はなんですか。

社内での担当と役職はどういったものですか。

業務について1問。

近年、技術者倫理が重要とされていますが、どうしてでしょうか。

特殊な施設の工事をするにあたって考えていることはありますか。

特殊な施設の工事において倫理的に反することがあったらどうしますか。

社内に技術士がいないようですが、社内での技術士試験の支援はありますか。

（小冊子を見ながら）技術士制度には3義務2責務がありますが、どういったものですか。

CPDにはどのようなものがありますか。

体験業務2についての論文を、発表してみてください。

8-3. 所感

試験官は2名とも、紳士的であった。

緊張のあまり経歴説明で詰まってしまったが、2名の試験官から「落ち着いて」「深呼吸しましょう」と優しい声を掛けて頂いたおかげで、その後は何とか体験業務の説明、試問の解答をすることができた。

試験前はフォーラムエイトを出た瞬間に、試験からの開放感で晴々とした気持ちになる

ことを想像していたが、実際はそのような気持ちにはなれず、詰まってしまった、あの試問はこう答えるべきであった、試験官の助け船に乗れなかった、知ったか振りをしてしまった等々を考え、モヤモヤした気持ちになった。

8-4. 結果

合格発表(3/4)は、筆記試験と同様に会社で確認した。自宅での確認も考えたがダメだった場合、出勤するのがイヤになるだろうと考え、会社で確認する事にした。

技術士会のHPにアクセスし、パソコンの画面をドキドキしながらスクロールして自分の番号を見つけた瞬間、大声をあげた。自信が無かったため、すごく嬉しかった。

9. おわりに

当HPには大変お世話になり感謝の気持ちでいっぱいです。当HPを通じて受験生の方々と出合えて話ができ、励みになりました。また、APECさんのような偉大な技術士に出会えた事は貴重な経験でした。

合格発表日、パソコンの画面をスクロールして自分の番号が近づいてくるドキドキ感、自分の番号を見つけた時の歓喜は一生忘れないと思います。

運良く1回目の受験で合格できた要因は約1年間毎日のように、「絶対に技術士になるぞ!」と思い続けたことだと思います。

以上

参考資料

- ・技術士受験を応援する第二次試験合格法 出願・筆記試験編2011年度版 (APEC氏)
- ・技術士受験を応援する第二次試験合格法 出願・筆記試験編2012年度版 (APEC氏)
- ・技術士受験を応援する第二次試験合格法 口頭試験編2012年度版 (APEC氏)
- ・合格答案実例集 建設一般・専門問題H21~23 (APEC-semi & SUKIYAKI塾)
- ・技術士第二次試験建設部門合格指南2011年版 (日経BP社)
- ・技術士第二次試験必須科目 = 建設一般 & 技術的体験論文の解答例「建設部門」
〈平成24年版〉 技術士試験シリーズ (土木技術研究会)
- ・技術士第二次試験選択科目 = 専門技術問題の解答例「建設部門」
〈平成24年版〉 技術士試験シリーズ (土木技術研究会)
- ・国土交通白書2011、2012 (国土交通省)
- ・日経コンストラクション (日経BP社)
- ・コンクリート標準示方書 (施工編) (土木学会)
- ・コンクリート標準示方書 (維持管理編) (土木学会)
- ・[建築携帯ブック] 建設廃棄物 (一般社団法人建設データベース協議会 [編])
- ・道路土工 仮設構造物工指針 (日本道路協会)
- ・その他インターネットで政策等を検索